大阪市　健康経営戦略マップ（2026年９月）

健康投資施策・取組		健康投資効果			目標年2030年	健康経営の推進方針	経営方針
		健康投資施策の取組状況に関する指標	職員等の意識変容・行動変容に関する指標	最終的な目標指標	健康経営の目標 KGIの目標値		
働き方改革	時間外勤務時間の縮減の取組 テレワーク制度の実施 フレックスタイム制の実施 時差勤務制度の実施 高齢者部分休業の実施	・管理職員を除く本務職員１人当たりの時間外勤務時間数（年間平均） ・健康教育参加率・理解度 ・特定保健指導の利用率 ・新採用者保健指導・健康相談満足度 ・高ストレス職場における職場改善取組率 ・セルフケア研修の受講率 ・職員相談窓口の認知度	・「ワーク・ライフ・バランスが推進され、働きやすい職場環境が整備されている」という問いに「思う・やや思う」と回答した職員の割合 ・「睡眠に関わる健康問題がある職員」の割合 ・「生活習慣病のリスクを高める量の飲酒をしている職員」の割合 ・「セルフケアを実施しようと思う職員」の割合	**ワーク・エンゲージメント※** ・ストレスチェック指数（活力、熱意） **プレゼンティーイズム※** ・病気やけがをしていない時に発揮できる仕事の出来を100%として、この1か月の仕事の出来を評価（SPQ東大１項目版） **アブセンティーイズム※** ・疾病等による30日以上の休暇等	ワーク・エンゲージメントの向上 2026年：2.57 2030年：2.61 プレゼンティーイズムの低減 2026年：22% 2030年：22%以下 アブセンティーイズムの低減 2025年：4.2% 2030年：3.9%	職員がウェルビーイングを実感しながら能力を発揮できる職場環境の構築 ・心理的な安心感のもと、働く意欲が持てる職場環境づくり ・職員の心身の健康保持増進	質の高い市民サービスの提供
心身の健康保持増進	睡眠関連健康相談の実施 健康課題（特に飲酒・睡眠）に対する情報提供・健康教育の実施 コラボヘルスの推進 新採用者保健指導・健康相談 高ストレス職場に対する職場環境改善研修の実施 ここ・から・ケア月間による取組 職員相談窓口の設置						

※ワーク・エンゲージメント：仕事に関連するポジティブで充実した心理状態。
※プレゼンティーイズム：出勤はしているものの健康問題が理由で生産性が低下している状態。（休むほどではないが、花粉症や腰痛等で調子が出ないような状態のこと。）
※アブセンティーイズム：疾病等により、病気休暇及び休職等の種類を問わず、30日以上業務についていない状態。